

# 釧路森林資源活用円卓会議

---

平成26年度の取組



# 釧路森林資源活用円卓会議について

---

釧路市は、平成17年の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。人口10万人、森林面積10万haを超えるのは全国で3市のみと、まさに釧路市は「森林都市」(森林率74%)と言えます。

この「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」をH22.11設置(川上部会H22.12、川下部会H23.2)しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

# 平成26年度の取組実績



もっと知る、  
くしろの木

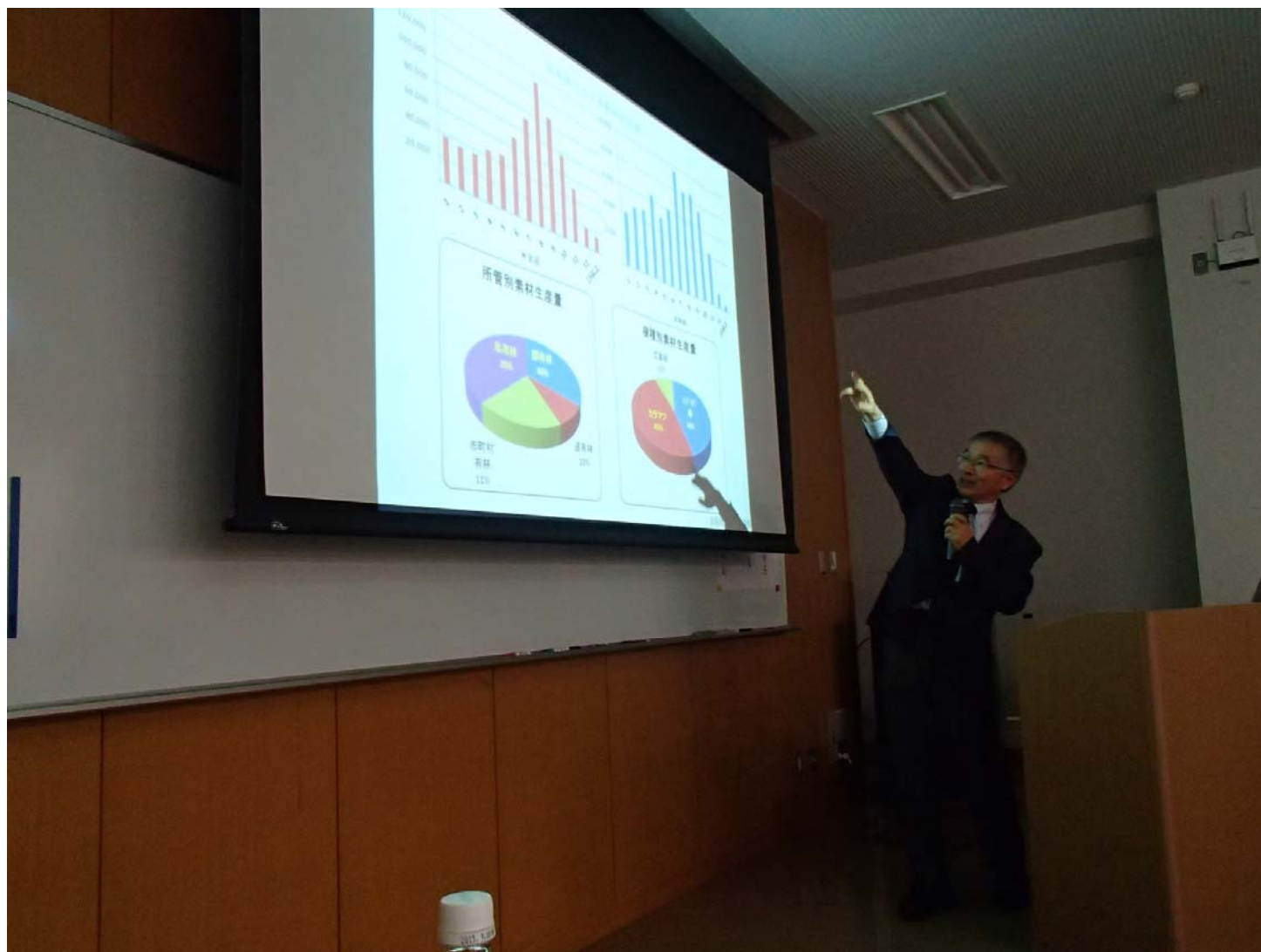


# 川上部会による 研修会

平成27年2月4日

森林総研北海道支所から産学官連携調整推進監の佐々木氏を講師に招き、「釧路地区における育林・造材技術の方向性を考える」というテーマで講演会を開催。

平成27年度以降の課題について検討しました。



もっと使う、  
くしろの木

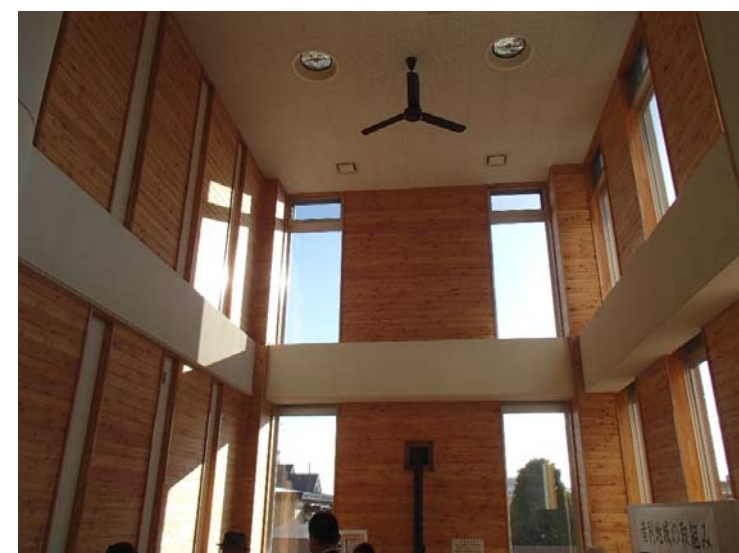




# 公共施設の 木造化推進

## 音別町行政センター

老朽化や津波対策から新築を進めていた新庁舎が平成26年11月に竣工。地元産カラマツをふんだんに使用しています。



## 阿寒湖畔スキー場ウォッチングハウス

冬季間のスキー大会、夏季間の自然探索の拠点として建設

森林整備加速化・林業再生事業



工事名	阿寒湖畔スキー場ウォッチングハウス
場所	阿寒湖畔スキー場
日付	平成26年11月
撮影者	廣田 寛

# 民間施設の 木造化推進

## 大楽毛よしの幼稚園

保育室や職員室等主要施設の新築

地域産カラマツを124.2m<sup>3</sup>使用

森林整備加速化・林業再生事業

## 釧根電気工事業協同組合事務所

新釧路町に新築

道産材利用量73.38m<sup>3</sup>





# 民間住宅の 木造化推進

弟子屈町における民間住宅

平成26年7月7日円卓会議で構造見  
学会を実施

くしろ・ねむろ「木づな」の家プ  
ロジェクト第3号物件

地域産カラマツを約7 m<sup>3</sup>使用する  
ほか温泉熱を利用した省エネ化が  
特徴



# 商品開発 (試作品)

上) 折りたたみ式会議机の天板をカラマツの野地板を2層張り合わせた天板にリプレイス。塗装は古色仕上。

下) 上記天板のクリア仕上



# 商品開発 (試作品)

IDカード等の使用も可能な名札ホルダー

写真はトドマツ製

現在商品化に向けて進行中





# 商品開発 (試作品)

## 小さな家キット

もともとはより大型で「家」のみの試作品を小型化し、アクセサリを充実させて箱庭的要素を加えたもの

各種イベントでの好評を受け、現在商品化に向けて進行中



# 商品開発 (商品化)

カラマツ製賞状

カラマツの突板を用い、加工の難  
易度と価格を低く抑えたもの

日の出工芸にて1枚1,200円で販売  
中





# 商品開発 (商品化)

カラマツ製イーゼル

可動部や支持部をできるだけ小さくし、持ち運びの容易なものを製作

各種イベントで使用の他、林業試験場への販売実績

得地ファニチャにて3,980円（10脚以上の単価）



## 商品開発 (商品化)

### カラマツ製幼児用椅子

幼稚園や保育園で使用される椅子の木部をカラマツ製に替え、金属部の再塗装を施したもの。新規購入コストの半分程度となる。

大楽毛よしの幼稚園等に100脚以上の実績

釧路観光工芸にて3,500円



# 商品開発 (商品化)

クリアフォレストナチュラルウッド

釧路産トドマツ精油とトドマツ木  
工品の組み合わせ

このほかにも多数の商品展開

エステにて販売中





# 商品開発 (商品化)

木製遊具

釧路短大と協同で、ままごとハウス、ままごとキッチン、滑り台、木の玉プールを開発

保育の現場からの声を取り入れながら設計・製作を行いました

得地ファニチャにて販売中



# もっと伝える、 くしろの木と技





# 小学校 木育講座

青葉小学校・清明小学校・昭和小学校にて開催

北海道釧路森林室が講師となり、  
森林・木材について学びました



# イベント出展 北の木文化祭

平成27年3月

サッポロファクトリーで行われたイベントに木づなプロジェクト試作品とパネルを展示したほか、「ちいさな家キット」のワークコーナーを設置。大変評判が良かったため、商品化が加速しました。

また、木づなフェスティバルでも活躍した「ジャイアンとセコイア」が再結集。大きな喝采を受けました。





# くしろ木づな フェスティバル

準備期間約6か月というタイミン  
グで開催が決定したくしろ木づな  
フェスティバル

しかし、釧路の森林・木材をとり  
まく人々の底力で成功させました

2日間の来場者数は2, 288名



# 釧路市有林の状況

	平成26年度実績	平成27年度計画
間伐 (ha)	117.13	179.36
除伐 (ha)	—	—
樹下植栽 (ha)	60.38	51.49
更新伐 (ha)	51.49	64.86
出材量 (m <sup>3</sup> )	7,447.467	

市有林面積 5,189ha (うち音別地区 2,763ha 阿寒地区 1,422ha)